

幕末の志士の舞台となった稲荷町



大正時代の稲荷町（上）
と裏町（左）



国内でも最も格式の高かった遊郭街であった稲荷町（現赤間町）の裏手には裏町があり、一つの繁華街を為していました、いわゆる花街です。

由緒ある地名が失われることを惜しみ、昭和61年「旧赤間関稲荷町跡」の町名顕彰碑が建立されました。赤間町は赤間関から関をとった町名ですが、古くは赤間丁とかアカマノ丁と言っていたそうです。